事例No.	883
公表年度	R1
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県川崎市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・地域運営組織

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

木材利用促進に関する取組～３本の柱を中心に～

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

神奈川県　川崎市（木材利用促進に関する取組 ～3本の柱を中心に～）

わがまちの税活用方針

≪現状≫
- 本市の私有林人工林面積、林業就業者数については極僅かだが、本市の人口は、令和12年をピークに増加し、最大で158.7万人となる見込み。
- 公共建築物においては「川崎市公共建築物等における木材の利用促進に関する方針」に目標値を定め、積極的な木質化を実施。
- 木材利用促進フォーラムの取組などから、消費地のトップランナーとして林産地から注目され始めている。

≪方向性≫
- 消費地である川崎市で、誰もが木の良さを身近に感じられる「都市の森」の実現に向けて、森林環境譲与税を活かした事業を以下の３本の柱を中心に展開する。

①公共建築物への木材利用促進　②民間建築物への木材利用促進　③地方創生に向けた連携

主な取組・概要

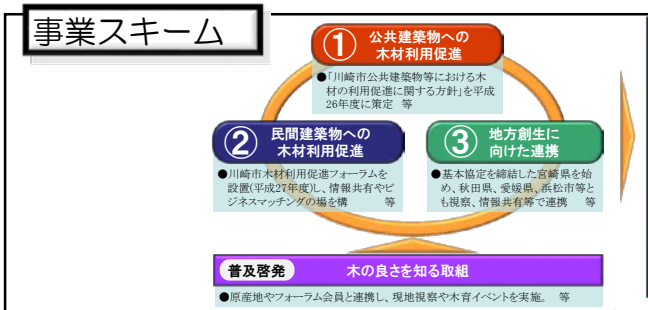
・不特定多数の市民が利用する公共空間・施設の一部を木質化する。
・木材利用に関する団体等から構成する「川崎市木材利用促進フォーラム」を設置し、木材利用に関する事業者の情報共有や技術力・ノウハウの向上を図る。
・民間建築物への木材利用に対する補助を行う。

１．公共建築物木質化リノベーション推進業務委託
【事業費（内譲与税額）】　：5,000（5,000）千円
【実施時期】：令和元年９月～令和２年３月
【事業内容】
本市区役所の一部を木質化する提案・設計・施工

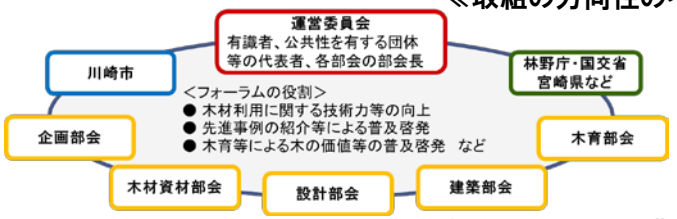
２．木材利用促進支援業務委託
【事業費（内譲与税額）】　：1,500（1,000）千円
【実施時期】：令和元年７月～令和２年３月
【事業内容】
本市木材利用促進フォーラムの運営、視察等実施

３．木材利用促進事業補助金交付事業
【事業費（内譲与税額）】　：10,000（10,000）千円
【実施時期】：令和元年７月～令和２年３月
【事業内容】
不特定多数の者が利用する店舗等の木質化工事に係る費用の一部を補助（上限250万※、補助率１／２）
※より多数の者の利用が見込め、PR効果が高いと見込まれる場合は500万

事業スキーム



≪取組の方向性のイメージ≫



□木材利用促進フォーラムの構成イメージ

工夫・留意している点、特徴等

・木材利用促進フォーラムでは、木材利用に関心をもつ企業や自治体により構成されているが、このネットワークを活かした情報の共有やビジネスマッチングの場づくりなど、会員の求めるものを提供するよう努めている。
・森林が他都市と比してかなり少ない本市では、市民が木に触れる機会自体が少ないため、木質化や木育イベントの開催など、市民が木の良さを知る機会をつくるようにしている。